





「新川の四季」（八千代ふるさと50景より）

新川およびその周辺の水と緑の空間は、四季折々の風情を楽しませてくれるとともに、人々に潤いとやすらぎを与えてくれる、市のシンボリックな存在となっています。八千代ふるさと50景は、市民として「誇れる景観」、後世に伝えたい「心に残る八千代の景色」として、市民から応募のあった写真作品161点のなかから50点を選び制定されたものです。



ブロンズ像「太陽」と「緑」（佐藤忠良作）

この「太陽」と「緑」のブロンズ像は、市のシンボリックな存在である新川に架かる村上橋の架け替えにあたり、「村上橋にブロンズを」というスローガンをもとに、市民参加により昭和56年5月村上橋の欄干に設置されました。

昭和54年11月に「八千代にシンボルを創る市民の会」が発足し、市民団体による積極的な募金活動が行われ、のべ43,000人以上の市民の皆様から、4,850万円に上る多額の浄財が寄せられ、これをもとに、現代日本彫刻界を代表する作家である佐藤忠良氏に、市民の夢や希望を活かし、新川周辺の優れた自然景観と調和した個性ある橋となるようブロンズ像の制作を依頼したものです。

空を仰ぐ健康的な「動」の象徴としての「太陽」と、静かに水面を見ろという「静」の象徴としての「緑」の2体のブロンズ像は、後世に残したい「心に残る八千代の風景」やちよふるさと50景にも選ばれるなど、設置以来市民に親しまれています。

八千代市第4次総合計画

■八千代市第4次基本構想 ■前期基本計画

発行日／平成23年3月

発行／八千代市

編集／総務企画部 総合企画課

住所／〒276-8501

千葉県八千代市大和田新田312-5

TEL 047-483-1151(代表)

FAX 047-484-8824(代表)

URL <http://www.city.yachiyo.chiba.jp>

E-mail seisaku1@city.yachiyo.chiba.jp